

ポータブル ビデオCDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



D-V8000

主な特長

小型・軽量でポータブルサイズのビデオCDプレーヤー
気軽に映像と音楽が楽しめます。映像を楽しむには、テレビをつないでください。

多彩なビデオCDの検索・再生機能

ビデオCDのプレイバックコントロール(PBC*)機能にも対応していますので、メニュー再生や高精細静止画の再生ができます。

プレイバック コントロール
*PBCとは、Playback Controlの略です。

リモコン付き

選曲や音声の切り換えができます。

AC、DC電源対応

家庭用電源とアルカリ乾電池のどちらでも電源として使えます。

ビデオCDについて

本機は、PBC対応のビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。

CDのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

PBC対応でないビデオCD (バージョン1.1)

音楽CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。

使えるCDについて

本機では以下のCD以外は再生できません。お求めの際は、ディスクに表示されているロゴマークをご確認ください。

ビデオCD
ロゴマーク



記録しているもの 音声と映像

音楽CD

ロゴマーク



記録しているもの 音声のみ

ディスクには12cmと8cmの2種類の大きさがあります。最長再生時間は各々74分と20分です。実際の再生時間はディスクによって異なります。

PBC対応のビデオCD

(バージョン2.0)

左記(PBC対応でない場合)の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます。また、高精細または標準の静止画を再生できます。

目次

ビデオCDを見る	5
音楽CDを聞く	8
ビデオCDのいろいろな再生のしかた	10
リモコンを使ってビデオCDを見る	10
動作状態をテレビ画面に表示するには	10
音声を切り換えるには	12
画像をより鮮明にするには(シャープネス)	13
スローモーションにする(スロー再生)	13
静止画で見る(フラッシュモーション・マルチフラッシュ再生)	14
PBC対応のビデオCDを再生する(PBC再生)	15
ビデオCDを繰り返し再生する(リピート再生)	16
いろいろな機能を使う	17
止めたところから再生するには(リピューム機能)	17
ビデオデッキなどにつなぐ	17
ビデオCDの場面の探しかた	18
画面を見ながら探す(早送り・早戻し)	18
見たい場面に画面をとばす	19
見たい場面を指定する(ビデオインデックスサーチ/シーンナンバーサーチ)	19
見たい場面の時間を指定する(タイムジャンプサーチ)	20
トラックを分割して選ぶ(トラックダイジェストサーチ)	20

次のページに続く→

目次(つづき)

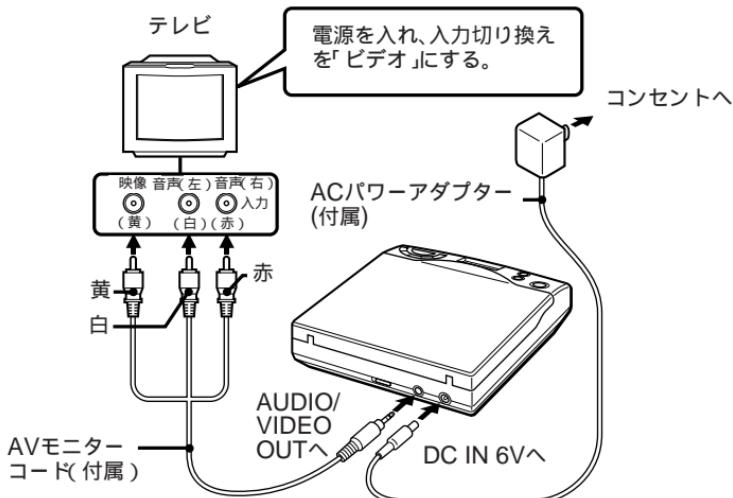
音楽CDのいろいろな聞きかた	21
繰り返し聞く(リピート演奏)	21
聞きたい曲だけを聞く(イントロプログラム演奏)	22
順不同に聞く(シャッフル演奏)	23
好きな順に聞く(プログラム演奏)	23
いろいろな機能を使う	24
低音を強調するには(MEGA BASS機能)	24
音飛びを防ぐには(ESP)	25
誤操作を防ぐには(ホールド機能)	25
止めたところからCDを聞くには(リピューム機能)	26
動作の確認音を止めるには	26
ステレオ機器につないで音楽CDを聞く	26
電源について	27
アルカリ乾電池で使う	27
その他	28
使用上のご注意	28
故障かな?と思ったら	29
お手入れ	30
主な仕様	31
各部のなまえ	32
用語解説	34
保証書とアフターサービス	35

ビデオCDを見る

付属のACパワーアダプターを使ってビデオCDを再生してみましょう。アルカリ乾電池での使いかたは「電源について(27ページ)」をご覧ください。

1 つなぐ

映像／音声入力端子のあるテレビをつなぐには
付属のAVモニターコードを使う。



次のページに続く→

2 NTSC/PAL切り換えスイッチを「NTSC」に合わせる

入力信号に合わせてカラー方式を自動的に選択できるテレビを使って
いる場合は「AUTO」に合わせます。

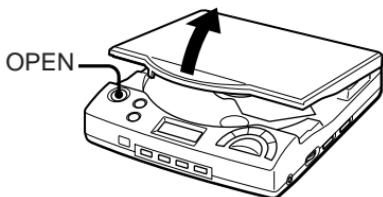


NTSC方式の国と地域
日本、韓国、台湾、米国など
PAL方式の国と地域
中国、インド、インドネシア、シンガポール、マレーシアなど

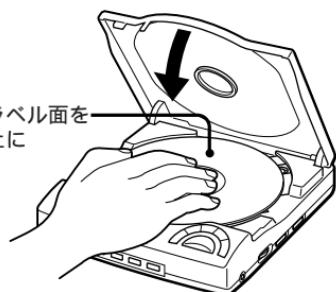


NTSC/PAL切り換え
スイッチ

3 ビデオCDを入れる

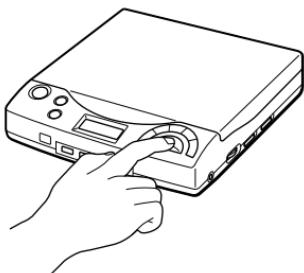


① OPENボタンを押して、
ふたを開ける。



② ビデオCDをはめこむ。

4 再生する



PBC対応のCDを再生するには、
15ページをご覧ください。

① ▶▷ボタンを押す。
再生が始まります。

② つないだ機器の本体で音量を調節する。
本機の音量つまみは、PHONES端子からの出力にのみ働きます。

止めるには
再生中にPOWER OFF■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押す。
電源も同時に切れます。

操作	操作のしかた
一時停止する	▶▷を押す。
一時停止を解除する	▶▷を押す。
次のトラックを頭出しする	再生中、NEXT▶▷ボタンを押す。
再生中のトラックやシーンの頭や、それより前のトラックやシーンを頭出しする	再生中、PREV◀◀ボタンを押す。
トラック番号で直接選ぶ(ダイレクト選択)	再生したいトラック番号の数字ボタンを押す。(リモコンのみ)
トラックの中の見たい部分を探す(サーチ)	再生中、PREV◀◀ボタンまたはNEXT▶▷ボタンを、画面に▶▷1または◀◀1が表示されるまで押し続ける。
トラックの中の見たい部分を早く探す	▶▷1または◀◀1が表示されている状態で、もう一度PREV◀◀ボタンまたはNEXT▶▷ボタンを、画面に▶▷2または◀◀2が表示されるまで押し続ける。

CDを取り出すには

中心の黒い部分を押さえながら、端のほうからつまみあげます。

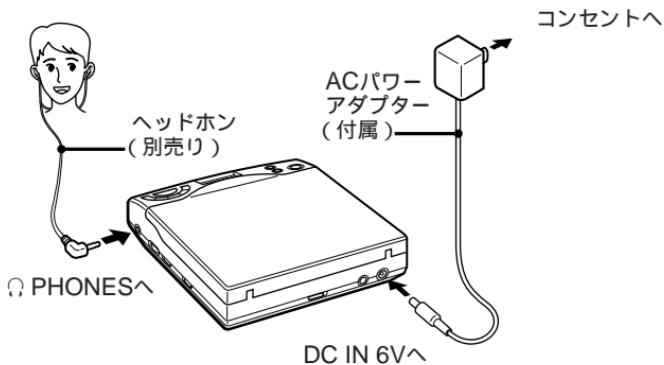


ステレオ機器につなぐには

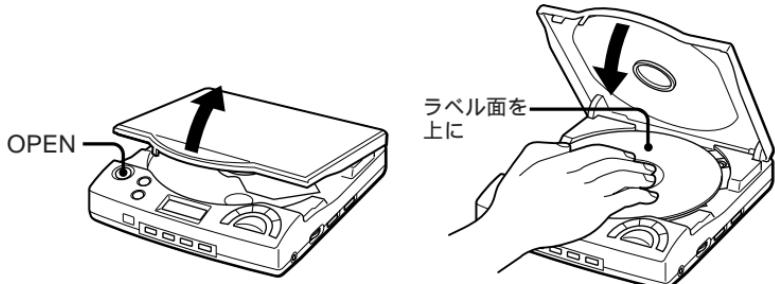
他のステレオ機器につないでより良い音声でビデオCDを再生するには、「ステレオ機器につないで音楽CDを聞く(26ページ)」をご覧ください。

音楽CDを聞く

1 つなぐ



2 音楽CDを入れる



① OPENボタンを押して、
ふたを開ける。

② CDをはめこむ。

3 聞く



操作	押すボタン
一時停止する	▶▷
一時停止を解除する	▶▷
今聞いている曲を頭出しする (AMS*機能)	PREV◀◀を1度 押す。**
前の曲、さらに前の曲を頭出しする (AMS機能)	PREV◀◀を繰り 返し押す。**
次の曲を頭出しする (AMS機能)	NEXT▶▶を1度押 す。**
さらに先の曲を頭出しする(AMS機能)	NEXT▶▶を繰り 返し押す。**
直接曲を選ぶ (ダイレクト選択)**	その曲の数字ボタ ンを押す。
早戻しする (サーチ機能)	PREV◀◀を押し たままにする。**
早送りする (サーチ機能)	NEXT▶▶を押した ままにする。**

オートマチックミュージックセンサー
*AMSはAutomatic Music Sensorの略です。曲の頭を探す機能です。
**これらの操作は、演奏中にも一時停止中にもできます。
***リモコンのみの機能です。

② 音量を調節する。

VOLUMEつまみ

止めるには

演奏中にPOWER OFF■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押す。電源も同時に切れます。

CDを取り出すには

中心の黒い部分を
押さえながら、端の
ほうからつまみあ
げます。



表示窓について

- ▶▷ボタンを押すと、RESUMEスイッチがOFFのときは、総曲数と総演奏時間が約2秒間出ます。
- 演奏中は、演奏中の曲番号とその経過時間が表示されます。
- 一時停止中は、止まった時点の表示が点滅します。
- 曲間には、次の曲が始まるまでの時間が表示されます。

CDの取り扱いについて

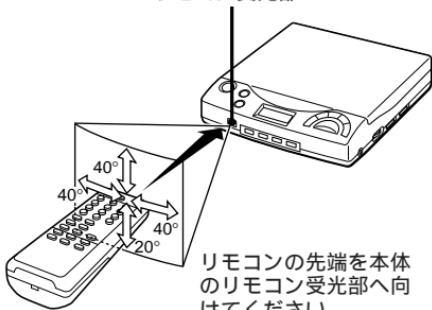
- 演奏面に手を触れないように持ってください。
- 紙やテープを表面に貼らないでください。
- 直射日光があたるところなど高温の場所や、直射日光下で窓を閉めきった車の中に放置しないでください。



▶ビデオCDのいろいろな再生のしかた

リモコンを使ってビデオCDを見る

リモコン受光部

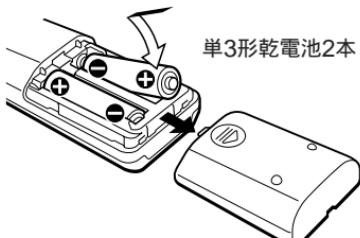


リモコンの先端を本体のリモコン受光部へ向けてください。

ご注意

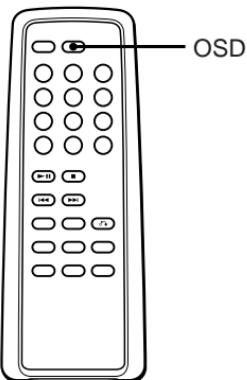
- ・本機をアルカリ乾電池で使用しているとき、POWER OFF■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押して電源を切つてから5分以上たった後に、電源を入れる場合は、本体の▶■ボタンを押してください。このときには、リモコンでは電源を入れることはできません。
- ・本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。
- ・リモコン受光部との間に障害物がないようにしてください。

リモコンの電池の入れかた
+と-の向きを正しく入れます。



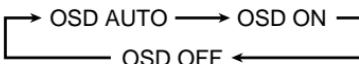
動作状態をテレビ画面に表示するには

現在の動作状態やCDの情報を確認できます。



OSDボタンを押す。

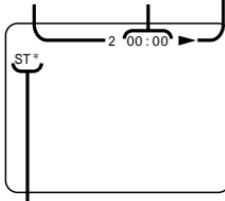
押すたびに、「OSD」表示(画面表示モード)が切り換わります。



「OSD AUTO」のときは、各ボタンを操作したときと動作状態が変わったときに動作状態が数秒間表示されます。

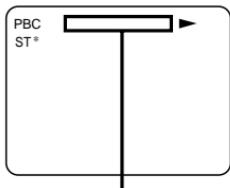
「OSD ON」のときは、動作状態や時間が常に表示されます。

PBC対応でないビデオCD /
PBC OFFでの再生時 動作状態
トラック番号 経過時間



音声表示は、ボタン操作後3秒で消えます。

PBC対応のビデオCD再生時



シーン番号やビデオインデックス番号などが表示されます。

*ST/L/R、SHARPNESSなどの設定状態がしばらく表示されます。(OSDモード切り換え時)

おもな画面表示とその意味

表示	意味(参照ページ)
PBC	PBC対応のビデオCDをPBC ONで再生中(15)
SELECT	何かの設定を選ぶ必要がある(例えば、MENUの選択)(15)
V INDEX	ビデオインデックスサーチ中(19)
SCENE	シーンナンバーサーチ中(19)
FLASH*	フラッシュモーションモード(14)
MULTI*	マルチフラッシュモード(14)
DIGEST*	トラックダイジェストモード(20)
RESUME	リジューム動作中(17)
NEXT XX	次のトラック番号
PREV XX	前のトラック番号
▶	再生中(7, 9)
■	一時停止中(7, 9)
▶▶	スロー再生中(13)
▶▶▶	早送り中(18)
◀▶	早戻し中(18)
◀	入力したものが無効のとき

表示	意味(参照ページ)
ST	ステレオ出力中(12)
L	左チャンネル出力中(12)
R	右チャンネル出力中(12)
OSD OFF	画面表示モードが「OSD OFF」状態に切り換わった(10)
OSD AUTO	画面表示モードが「OSD AUTO」状態に切り換わった(10)
OSD ON	画面表示モードが「OSD ON」状態に切り換わった(10)
PBC OFF	PBC機能に対応していない状態に切り換わった(16)
PBC ON	PBC機能に対応している状態に切り換わった(16)
NTSC	NTSC信号出力中(6)
PAL	PAL信号出力中(6)
AUTO**	NTSC/PALスイッチを「AUTO」に合わせる(6)
SHARP	シャープネスがより鮮明に調整されている(13)
SOFT	シャープネスが柔らかく調整されている(13)
NORMAL	シャープネスがふつうの状態に調整されている(13)
REP OFF	リピート再生しない(16)
REP ALL***	ディスク全体でリピート再生する(16)
REP 1***	再生中のトラックをリピートする(16)

*選択中は表示が「点滅」設定済みになると「点灯」します。

**「AUTO」とは、入力されたNTSCあるいはPALの信号を自動選別して表示できるテレビのためのポジションです。

このときにはディスクの情報に基づいてNTSCあるいはPALの信号が出力されます。

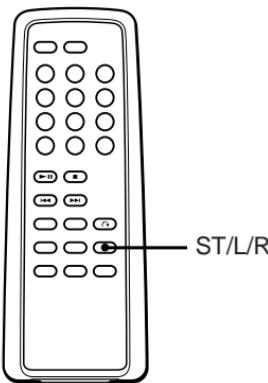
***PBC再生中はREPEATできません。

ご注意

- ・音楽CDの再生中は、画面表示は出ません。
- ・本機で再生する内容を他機で録画するときは、必ず画面表示モードを「OSD OFF」にしてください。「OSD AUTO」または「OSD ON」になっていると、画面表示も録画されてしまいます。
- ・画面表示モードはPOWER OFF■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押して電源を切ると「OSD AUTO」に戻ります。

音声を切り換えるには

音声多重CDでは、左右のチャンネルに別々の音が録音されています。このようなCDでは、チャンネルを選んで音を聞くことができます。



再生中、ST/L/Rボタンを押す。

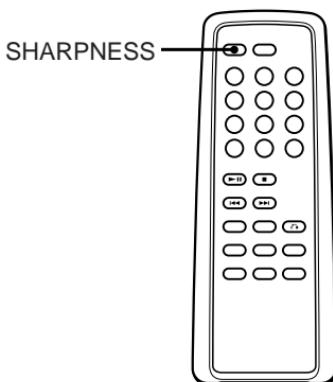
押すたびに、テレビ画面の表示とスピーカーから聞こえる音声が下の表のように切り換わります。

押す回数	表示	聞こえる音声
1回	L	左チャンネルの音
2回	R	右チャンネルの音
3回	ST	ステレオ再生

初期設定は「ST」です。

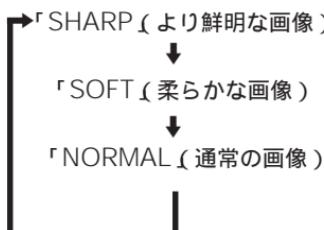
画像をより鮮明にするには (シャープネス)

画像をより鮮明にしたり、柔らかくしたりすることができます。



再生中、SHARPNESSボタンを押す。

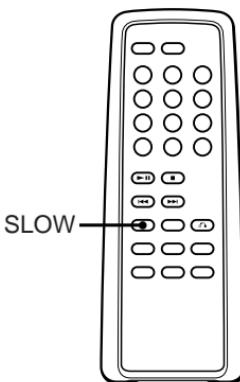
押すたびに、テレビ画面の表示が次のように切り換わります。



初期設定は「NORMAL」です。

スローモーション にする(スロー再生)

再生スピードを2段階に遅くすることができます。



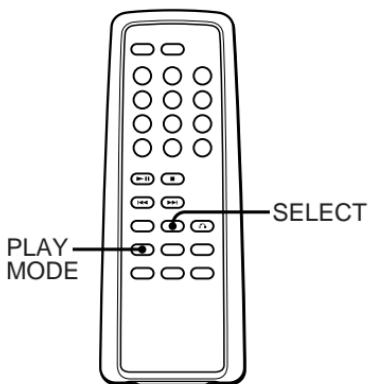
再生中にSLOWボタンを押す。
スロー再生中にもう一度SLOWボ
タンを押すと、さらに再生スピード
が遅くなります。

通常の再生に戻すには、▶▷ボタンを
押します。

スロー再生しているトラックが終了
すると、自動的に通常のスピードに
戻ります。

静止画で見る (フラッシュモーション・ マルチフラッシュ再生)

画面を連続的に変化する静止画にする
ことができます。音声は通常のま
まお楽しみいただけます。



フラッシュモーション再生

再生中にPLAY MODEボタンを2
回押してテレビ画面に「FLASH」を
表示させ、SELECTボタンを押す。

画面が連続的に変化する静止画にな
ります。

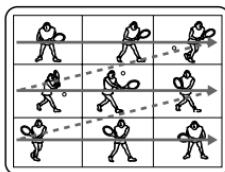
通常の再生に戻すには、PLAY
MODEボタンを、テレビ画面の表示
が消えるまで繰り返し押します。

フラッシュモーション再生している
トラックが終了すると、自動的に通
常のスピードに戻ります。

マルチフラッシュ再生

再生中にPLAY MODEボタンを
3回押してテレビ画面に「MULTI」
を表示させ、SELECTボタンを押
す。

画面が9分割され、それらが連続的に
変化する静止画になります。



通常の再生に戻すには、PLAY
MODEボタンを押します。

マルチフラッシュ再生しているトラ
ックが終了すると、自動的に通常の
スピードに戻ります。

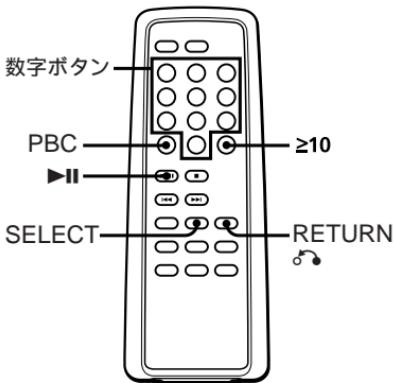
ご注意

CDによって、フラッシュモーション再生
やマルチフラッシュ再生の間隔があいて
しまうものや一定にならないものがあり
ます。

PBC対応のビデオCDを再生する(PBC再生)

本機では、PBC(プレイバックコントロール)機能を使ってPBC対応のビデオCD(バージョン2.0(対話型のソフトや検索機能のあるソフト))を再生できます。

ディスクによって再生の手順が異なることがあります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。



1 PBC対応のビデオCDを入れる(6ページ)。

2 ▶IIボタンを押す。
PBC再生が始まり、テレビ画面にPBC機能のメニュー画面(選択画面)が表示されます。

3 数字ボタンを押してメニュー画面から再生したい項目を選ぶ。

例えば項目の5を選ぶときは、数字ボタンの5を押します。

10以降の項目を選ぶときは、 ≥ 10 ボタンを先に押してから、100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

<例>

12番: $\geq 10 \rightarrow 1 \rightarrow 2$

24番: $\geq 10 \rightarrow 2 \rightarrow 4$

135番: $\geq 10, \geq 10 \rightarrow 1 \rightarrow 3$
→ 5

本体で操作するときは
MENU + またはMENU - ボタンを押して、項目の番号に合わせ、SELECTボタンを押します。

4 テレビ画面に表示される画面に従って、再生を進める。
PBC再生中は、次の操作を繰り返して再生を進めています。

次のページに続く→

こんなときは 操作のしかた

項目の番号を選ぶ リモコンの数字ボタンで項目の番号を押す。

本体のMENU + / - ボタンを押して、項目の番号に合わせ、SELECTボタンを押す。

動画再生時、テレビの画面に「SELECT」が点滅中に項目を選ぶ 数字ボタン、またはMENU + / - ボタンとSELECTボタンを押すと、動画再生中でも他の場面を選ぶことができます。

メニュー画面(選択画面)に戻る 一般的なPBC対応のビデオCDでは、RETURNボタンを押す。
(操作の方法はCDによって異なることがありますので、CDに付属の説明書をご覧ください。)

ご注意

CDによっては、SELECTの代わりに▶-SELECT(または▶)を押して選択する場合があります。本機ではリモコンのSELECTボタンを押してください。▶IIボタンを押すと、一時停止になります。

PBC対応のビデオCDをふつうに再生するには PBC機能を使わないで再生する)

リモコンのPBCボタンを押します。テレビ画面に「PBC OFF」と表示され、ふつうの再生(トラック番号順に再生)が始まります。テレビ画面の「PBC」は消えます。

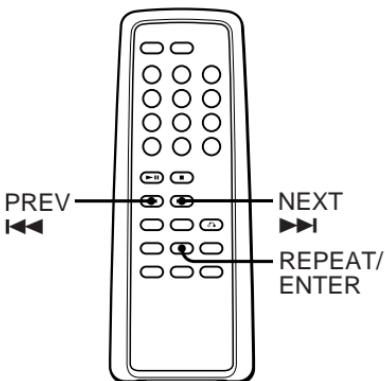
このとき、メニューなどの静止画は再生できません。

PBC再生に戻すには、もう一度PBCボタンを押します。

PBC ON/OFFを切り換えるとCDのはじめから再生します。

ビデオCDを繰り返し再生する (リピート再生)

CD全体、または1つのトラックだけを何回も繰り返して再生できます。



CD全体(全トラック)を繰り返すには

再生中に、テレビ画面に「REP ALL」表示が出るまでREPEAT/ENTERボタンを繰り返し押す。

リピート再生をやめるには、REPEAT/ENTERボタンを押して、「REP OFF」表示を出します。

1トラックだけを繰り返すには

繰り返したいトラックの再生中に、REPEAT/ENTERボタンを押す。テレビ画面に「REP 1」表示が出ます。

他のトラックを繰り返すには、
PREV◀◀またはNEXT▶▶を押して、繰り返したいトラックを再生し、
REPEAT/ENTERボタンを押します。

リピート再生をやめるには、
REPEAT/ENTERボタンを押して、
「REP OFF」表示を出します。

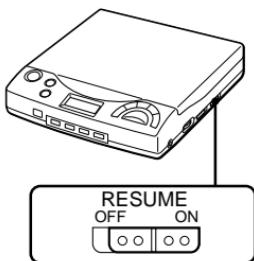
ご注意

PBC再生中はこの操作はできません。PBC機能をOFFに切り換えて操作してください。

いろいろな機能を 使う

止めたところから再生する には(リピューム機能)

通常はCDの再生を止めると、次は1トラック目から再生されますが、リピューム機能を使うと、最後に止めたところから再生されます。



RESUMEスイッチをONに合わせます。

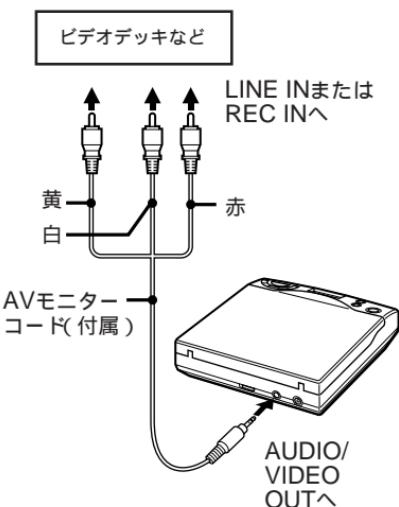
リピューム機能を解除するには、
RESUMEスイッチをOFFに合わせ
ます。

ご注意

- リピューム機能をONにしていても、ふたを開けると最後に止めたところの記憶が消え、次に再生するときはCDの1トラック目から再生が始まります。
- リピューム機能は、±約30秒の誤差が出ることがあります。

ビデオデッキなどにつなぐ

本機で再生した映像をビデオテープに録画できます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。接続する機器の電源は必ず切ってから接続してください。



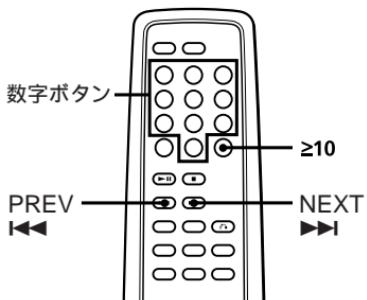
ご注意

再生を始める前に、つないだ機器の音量を下げておいてください。思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

▶ビデオCDの場面の探ししかた

画面を見ながら探す(早送り・早戻し)

テレビ画面を見ながら、CDの中の見たいトラックや、トラックの中の見たい部分を探す(サーチ)ことができます。



こんなときは	操作のしかた
次のトラックを頭出しする	再生中、NEXT▶▶ボタンを押す。
再生中のトラックの頭や、それより前のトラックの頭出しする	再生中、PREV◀◀ボタンを押す。
トラック番号で直接選ぶ(ダイレクト選択)	再生したいトラック番号の数字ボタンを押す。(リモコンのみ)
トラックの中の見たい部分を探す(サーチ)	再生中、PREV◀◀ボタンまたはNEXT▶▶ボタンを、画面に▶▶1または◀◀1が表示されるまで押し続ける。
トラックの中の見たい部分を早く探す	▶▶1または◀◀1が表示されている状態で、もう一度PREV◀◀ボタンまたはNEXT▶▶ボタンを、画面に▶▶2または◀◀2が表示されるまで押し続ける。

ダイレクト選択で、トラック番号の10以降を選ぶには

≥10ボタンを先に押してから、100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

<例>

12番: ≥10 → 1 → 2

24番: ≥10 → 2 → 4

135番: ≥10、≥10 → 1 → 3

→ 5

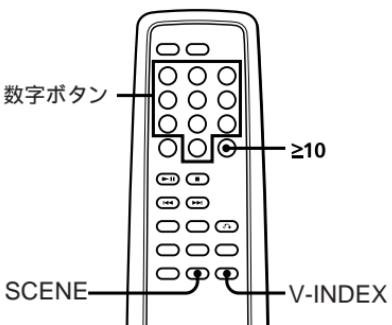
見たい場面に画面をとばす

シーン番号やビデオインデックス番号、あるいは時間を指定して、見たい場面をすばやく選ぶことができます。

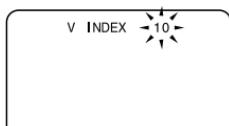
見たい場面を指定する (ビデオインデックスサーチ/ シーンナンバーサーチ)

PBC対応のビデオCDには、ビデオインデックス番号やシーン番号、あるいはその両方が付いているものがあります。

ビデオインデックス番号やシーン番号は、再生中にテレビ画面に表示させて確認します(11ページ)。



- 1 再生中にV-INDEXボタンまたはSCENEボタンを押す。テレビ画面に「V INDEX」または「SCENE」と表示され、現在のV-INDEXナンバーまたはSCENEナンバーが点滅します。



2 数字ボタンを押して希望のビデオインデックス番号やシーン番号を選ぶ。

テレビ画面に選んだビデオインデックス番号シーン番号が表示されます。

V INDEX 24

10以降を選ぶには
≥10ボタンを先に押してから、
100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

<例>

12番: ≥10 → 1 → 2

24番: ≥10 → 2 → 4

135番: ≥10、≥10 → 1 → 3

→ 5

間違えたときは
手順1からやり直します。

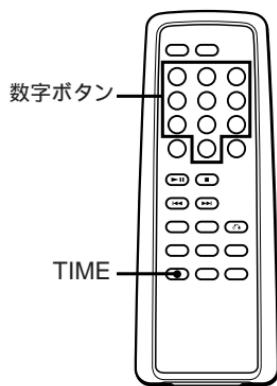
インデックス、シーンの選択を途中でやめるときは
V-INDEXボタンまたはSCENEボタンをもう一度押します。

ご注意

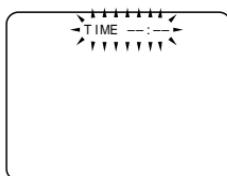
- 特定のシーンからの再生を禁止しているCDでは、シーン再生はできません。そのときは、シーン番号の表示が消え、そのまま再生を続けます。
- シーン番号が記録されていないCDでは、シーンサーチはできません。
- 音楽のみで構成されたシーンを選んだ場合は、映像は出ません。
- ビデオインデックスが記録されていないCDやトラックでは、ビデオインデックスサーチはできません。
- 2つ以上のトラックにまたがってはビデオインデックスサーチはできません。

見たい場面の時間を指定する(タイムジャンプサーチ)

時間を指定して、見たい場面を探すこともできます。



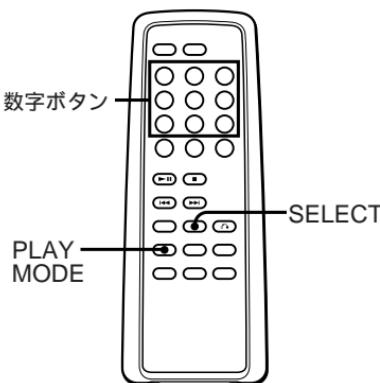
- 1 再生中にTIMEボタンを押す。
テレビ画面に「TIME」と
「- - - -」が点滅します。



- 2 数字ボタンを押して希望時間を入力する。
その時間の場面に切り換わります。

トラックを分割して選ぶ(トラックダイジェストサーチ)

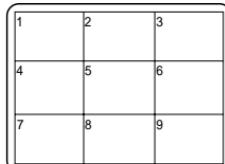
1つのトラックを9分割して、その中から見たいものを番号で選ぶことができます。



- 1 再生中に、テレビ画面に
「DIGEST」表示が点滅するま
でPLAY MODEボタンを押す。



- 2 SELECTボタンを押す。
1つのトラックを9分割した動画
が現われます。

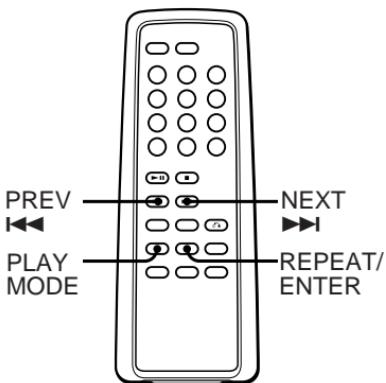


- 3 数字ボタンを押して見たい画面の番号を選ぶ。
選んだ部分から再生が始まります。

▶ 音楽CDのいろいろな聞きかた

繰り返し聞く (リピート演奏)

通常の演奏や、イントロプログラム演奏、シャッフル演奏、プログラム演奏を繰り返し聞けます。1曲だけでも繰り返し演奏できます。



全曲を繰り返すには

演奏中にREPEAT/ENTERボタンを押します。
➡が出ます。



リピート再生をやめるには、もう1度REPEAT/ENTERボタンを押します。

1曲だけを繰り返すには

1 繰り返したい曲の演奏中に、REPEAT/ENTERボタンを押す。
➡が出ます。



2 「1」が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。

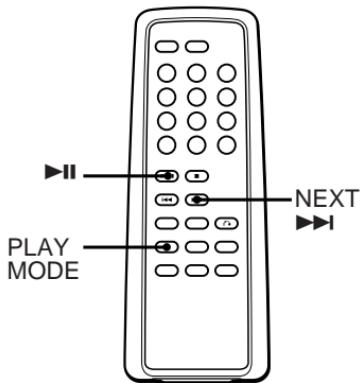


他の曲を繰り返すには、PREV◀◀
またはNEXT▶▶を押します。

リピート再生をやめるには、もう1度REPEAT/ENTERボタンを押します。

聞きたい曲だけを聞く(イントロプログラム演奏)

曲の最初の約15秒をひと通り聞きながら曲を選び、選んだ曲だけを聞けます。



1 演奏中に「INTRO PGM」が点滅するまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。



2 >||ボタンを押す。
各トラックの最初の約15秒を次々に演奏します。「INTRO PGM」は速く点滅します。

3 聞きたい曲になったら、REPEAT/ENTERボタンを押す。
曲が登録されます。聞きたくないときは、次の曲に移るまで待つか、NEXT▶▶ボタンを押します。

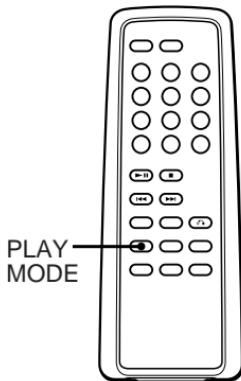
最後の曲の演奏が終わると、「INTRO PGM」の点滅が止まり、登録した曲だけが自動的に再生されます。

最後の曲までいかずに登録を終了するには、▶▶ボタンを押します。登録した曲が演奏されます。

イントロプログラム演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押します。

順不同に聞く (シャッフル演奏)

全曲を順不同に再生します。



演奏中に「SHUFFLE」が出るまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。

次の曲から順不同で全曲を1回演奏します。



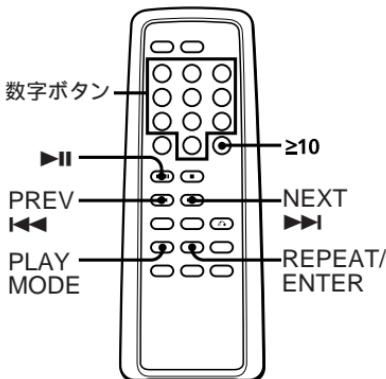
シャッフル演奏をやめるには、演奏モードの表示が消えるまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押します。

ご注意

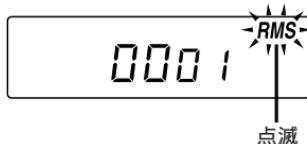
- ・シャッフル再生中はPREV◀◀ボタンを押しても前の曲に戻りません。
- ・ダイレクト選択をすると、シャッフル演奏は解除されます。

好きな順に聞く (プログラム演奏)

最大22曲まで好きな順に聞けます。

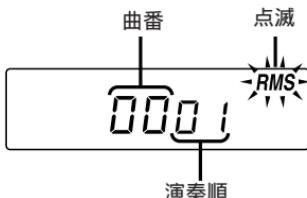


1 演奏中に「RMS*」が点滅するまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。



*RMSはRandom Music Sensorの略です。

2 数字ボタン(リモコンのみ)またはPREV◀◀、NEXT▶▶ボタンを押したあとREPEAT/ENTERボタン(本体のみ)を押して、曲を選ぶ。
曲番号と演奏順が出ます。



トラック番号の10以降を選ぶときは
≥10 ボタンを先に押してから、
100の位の数、10の位の数、1の
位の数という順に数字ボタンを
押します。

<例>

12番: ≥10 → 1 → 2
24番: ≥10 → 2 → 4
135番: ≥10、≥10 → 1 → 3
→ 5

3 手順2を繰り返して好きな曲順
を選ぶ。

4 ▶IIボタンを押す。
「RMS」の点滅が止まり、選んだ
順に演奏が始まります。

プログラム再生をやめるには、
「RMS」が消えるまでPLAY MODE
ボタンを繰り返し押します。

**プログラムした曲順を確認
するには**

プログラム中:

4の操作の前にREPEAT/ENTER
ボタンを押します。

プログラム演奏中:

「RMS」が点滅するまでPLAY
MODEボタンを繰り返し押し、
点滅したらREPEAT/ENTERボ
タンを押します。

REPEAT/ENTERボタンを押すたび
に曲番と演奏順が表示されます。

ご注意

22曲をプログラムした後さらに曲を選ぶ
と、最初にプログラムした内容が消えて、
新しい曲がプログラムされます。

いろいろな機能を 使う

低音を強調するには (MEGA BASS機能)

音楽に合わせて、重厚で迫力のある
音で演奏を楽しめます。



MEGA BASSボタンを押して、
「BASS ▲」または「BASS ▲ ▲」を
選びます。「BASS ▲ ▲」のほうがよ
り強調されます。

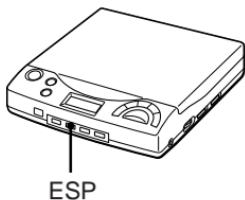
ご注意

- ・音がひずむときは、音量を下げてください。
- ・MEGA BASS機能はAUDIO/VIDEO OUT使用時には効きません。

イーエスピー 音飛びを防ぐには (ESP)

エレクトロニック ショック
ESP Electronic Shock

プロテクション
Protection)機能はCDのデータを約10秒分ずつ電子回路に貯えておくことにより、音飛びを防ぎます。移動中、歩行中や車の中など振動の多いところで聞くときは、この機能を使ってください。



ESP切換ボタンを押します。
「ESP」が出来ます。



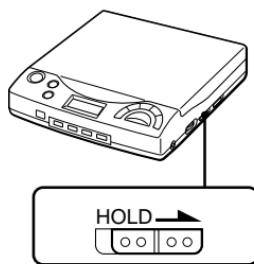
ESP機能を解除するには、もう一度
ESP切換ボタンを押します。

ご注意

- ・強い衝撃が加わると演奏が停止することがあります。
- ・次のような場合、ノイズが出たり、音が飛んだりすることがあります。
 - 汚れや傷のあるディスクを聞いているとき
 - 特殊な信号が入ったテストディスクなどを聞いているとき
 - 本機に連続的に衝撃が加わっているとき
- ・演奏中にESP機能を切り換えると、少しの間、音がとぎれます。
- ・ビデオCD再生時にはESP機能は自動的にOFFになります。

誤操作を防ぐには (ホールド機能)

ビデオCDプレーヤーをカバンに入れているときなど、誤って本体のボタンが押されるのを防げます。リモコンのボタンは、このスイッチの位置に関わりなく働きます。

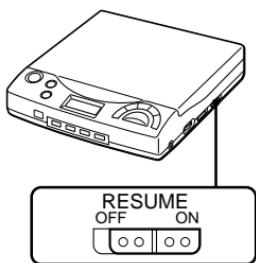


HOLDスイッチを矢印の方向へスライドします。

操作ボタンを押しても、表示窓に「Hold」が出て動作しません。

ホールド機能を解除するには、
HOLDスイッチを矢印と反対方向
(左)へ動かします。

止めたところからCDを聞くには(リピューム機能)
通常は演奏を止めると、次は1曲目から演奏されますが、リピューム機能を使うと、最後に止めたところから演奏されます。



RESUMEスイッチを「ON」に合わせます。

リピューム機能を解除するには、RESUMEスイッチを「OFF」に合わせます。

ご注意

- リピューム機能をONにしていても、ふたを開けると最後に止めたところの記憶が消え、CDの1曲目から演奏が始まります。
- リピューム演奏は、土約30秒の誤差が出ることがあります。

動作の確認音を止めるには
動作確認のためのピッという音を鳴らないようにできます。

本体電源(ACパワーアダプター、アルカリ乾電池)をはずします。本体の■ボタンを押しながら、再び電源を接続します。

再び確認音が鳴るようにするには、本体電源をはずし、■ボタンを押さずに本体電源を接続します。

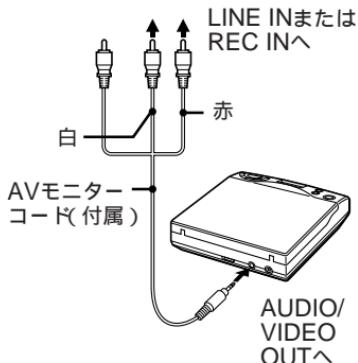
ご注意

- ビデオCD再生時には確認音は出ません。

ステレオ機器につないで音楽CDを聞く

他のステレオ機器でCDを聞いたり、テープに録音できます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。接続する機器の電源を必ず切ってから接続してください。

ステレオシステム、
カセットデッキ、
ラジオカセット
レコーダーなど



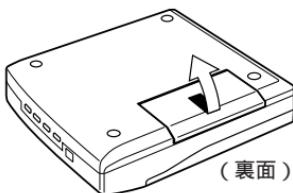
ご注意

- CDを聞く前に、つないだ機器の音量を下げてください。思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
- 「ピッ」という操作音はAUDIO/VIDEO OUTジャックからは出力されません。
- AUDIO/VIDEO OUTには、本体のVOLUMEつまみでの音量調節はできません。
- ブランクサーチ(無音部検出)機能のあるカセットデッキなどで録音するときは、ESP機能を切ってください。ブランクサーチ機能が働かなくなります。

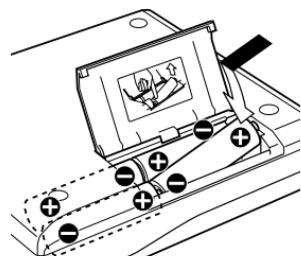
▶ 電源について

アルカリ乾電池で使う

1 電池入れのふたを開ける。

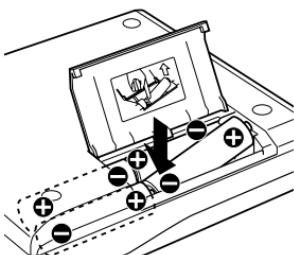


2 単3形アルカリ乾電池4本(別売り)を電池入れの $\oplus\ominus$ の表示に合わせて入れ、ふたを閉める。



乾電池を取り出すには

下図のように乾電池の \ominus 側を押して取り出します。



電池交換の目安

乾電池が消耗すると「*low batt*」が表示されます。4本とも新しい乾電池と交換してください。

電池の持続時間

水平に置き、振動のない状態で演奏したときの時間です。

	音楽CD	ビデオCD
ESPがONのとき	ESPがOFFのとき	
約13時間	約15時間	約3.5時間

乾電池の取り扱いについて

液漏れや破裂を防ぐため次のことをお守りください。

- ・新しいものと古いもの、または違う種類のものを混用しないでください。
- ・充電しないでください。
- ・長い間使わないときは、出しておいてください。
- ・万一、液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい電池に入れ換えてください。
- ・本機には、マンガン電池はお使いになれません。

ご注意

- ・乾電池で使っているときは、表示窓のバックライトが点灯しません。

使用上のご注意

安全のために

本機に使われているレーザー光が目にあたると危険です。絶対にプレーヤーを分解したりしないでください。

電源について

本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

ACパワーアダプターについて

・付属のACパワーアダプターをご使用ください。これ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。



・電源コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

本機の取り扱いについて

・ディスクステーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
・落としたり、重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与える、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。

- ・次のような場所に置かないでください。
 - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
 - ダッシュボードや直射日光下で窓を閉めた自動車内(特に夏季)。
 - 磁石やスピーカーなど磁気を帯びたところ。
 - ホコリの多いところ。
 - ぐらついた台の上や傾いたところ。
 - 振動の多いところ。
 - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ・ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。

ディスクの取り扱いについて

・本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

ヘッドホンで聞くときのご注意

・交通安全のために

自転車やバイク、自動車などの運転中は、ヘッドホンは絶対に使わないでください。歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。とくに、踏切や横断歩道では充分にご注意ください。

・耳を守るために

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないように注意しましょう。

・まわりの人のことを考えて

ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多い所では、音量を上げてしまがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

故障かな? と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

再生が始まらない、または、ディスクを入れても「no disc」が出る。

- ➡ ディスクが汚れている、または大きな傷がある。大きな傷がある場合は、ディスクを取り換える。
- ➡ ディスクのラベル面を上にして入れる。
- ➡ 結露している。ディスクを取り出して、そのまま数時間置く。
- ➡ レンズが汚れている。レンズをクリーニングする。
- ➡ 電池入れのふたをしっかり閉める。
- ➡ 乾電池を正しく入れる。
- ➡ ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む。

音が出ない、または雑音が聞こえる。

- ➡ プラグをしっかり差し込む。
- ➡ プラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布でクリーニングする。

音に奥行きがなく、モノラルのように聞こえる。

- ➡ リモコンのST/L/Rボタンを押し、STを選ぶ。(ビデオCD再生時のみ)

本体のボタンを押すと、表示窓に「Hold」が出る。

- ➡ 本体のHOLD機能が働いている。HOLDスイッチを矢印と反対方向(左)に戻して、HOLD機能を解除する。

映像が出ない。

- ➡ テレビの電源が入っているか確かめる。
- ➡ テレビの入力切り替えがビデオCDプレーヤーの映像が映るようになっているか確かめる。
- ➡ 音楽CDの再生中にAVモニターコードを接続しても映像は出ません。
- ➡ 次のマークの付いたディスクを使っているかどうか確かめる。



- ➡ 上のマークが付いたディスクでも不法にコピーされたディスクなどでは再生できないことがあります。ディスクの販売店などにご相談ください。

映像が乱れる。

- ➡ PREV◀◀ / NEXT▶▶ボタンを押したり、▶▶IIボタン(またはリモコンの▶▶IIボタン)を押して一時停止したときにこのような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
- ➡ CDに大きな傷がある。CDを取り換える。
- ➡ CDの汚れがひどい。クリーニングする。

映像が流れたり、白黒で表示される

- ➡ NTSC/PAL切り替えスイッチを確かめる。

次のページに続く→

リモコンで操作できない。

- ➡ POWER OFF■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押して電源を切ってから5分以上たったのちは、リモコンで電源を入れることはできません。この場合、本体の▶■ボタンを押して電源を入れてください。電源が入ったあとはリモコンで操作できます。(本機をアルカリ乾電池で使用しているとき)
- ➡ リモコンとリモコン受光部の間にある障害物を移動する。
- ➡ リモコンの電池をすべて新しいものに交換する。

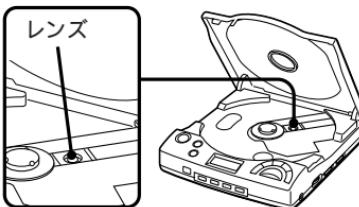
「Lo dc / n」または「Hi dc / n」表示が出て動作しない。

- ➡ 付属のACパワーアダプターを使う。

お手入れ

レンズの汚れは

レンズクリーニングキットKK-DM1(別売り)を使ってクリーニングしてください。



キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾ふきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

主な仕様

*日本電子機械工業会(EIAJ)規格による測定値です。

型式

コンパクトディスクデジタル
オーディオ / ビデオCD再生
システム

取り込み方式

非接触光学式読み取り(半導体
レーザー使用)

レーザー

GaAlAs ダブルヘテロダイオード
= 780nm

回転数

約500rpm ~ 200rpm (VIDEO/ESP
OFF)
約1000rpm ~ 400rpm (ESP ON)

エラー訂正方式

ソニースーパーストラテジー
(クロスインターリーブリードソロ
モンコード)

チャンネル数

2チャンネル

復号化(D/A)

1bit

周波数特性

20Hz ~ 20,000Hz $+\frac{1}{2}$ dB* $-\frac{1}{2}$ dB*

ワウ・フラッター

測定限界以下

出力端子(電源電圧6.0V時)

- AUDIO/VIDEO OUT端子(特殊ステレオミニジャック)1個
最大出力レベル 0.7Vrms (47k)
推奨負荷インピーダンス 10kΩ以上
映像出力 最大出力レベル
1Vp-p(75Ω)
推奨負荷インピーダンス 75Ω以上
- ヘッドホン端子(ステレオミニジャック)1個
最大出力レベル 10mW + 10mW
(EIAJ/16)
推奨負荷インピーダンス 16Ω

電源・その他

本体電源

- 単3形アルカリ乾電池 4本
DC 6V
- 外部電源端子 定格DC 6V
ACパワーアダプター(付属)を接続
してAC 100V電源から使用可能

リモコン電源

単3形乾電池 2本

本体寸法

約140.5 × 30.5 × 144.2mm
(幅 / 高さ / 奥行き)

質量

本体 約330g
ご使用時 約440g(アルカリ乾電池と
CDを含む)

動作温度

5 ~ 35

付属品

- ACパワーアダプター(1)
- AVモニターコード(1)
- リモコン(1)
- 単3形マンガン乾電池(2)<リモコン用>
- 取扱説明書(1)
- サービス窓口・ご相談窓口のご案内(1)
- 保証書(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

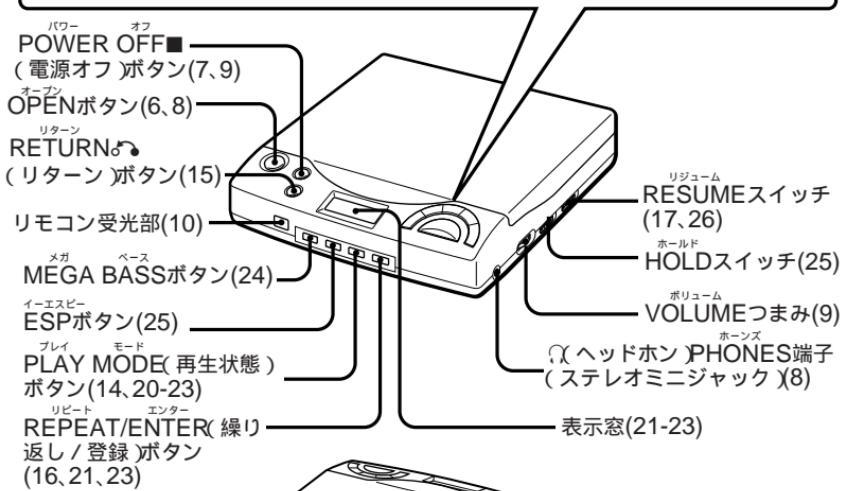
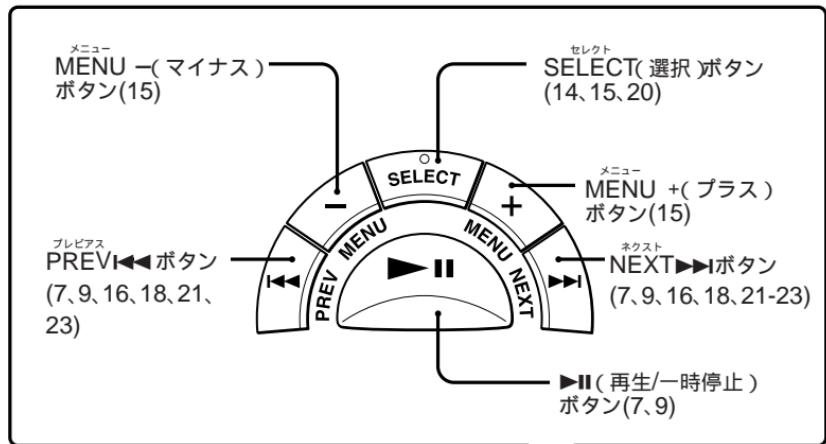
別売りアクセサリー

ヘッドホン MDR-E868
グラストロン PLM-100

各部のなまえ

()内のページに詳しい説明があります。

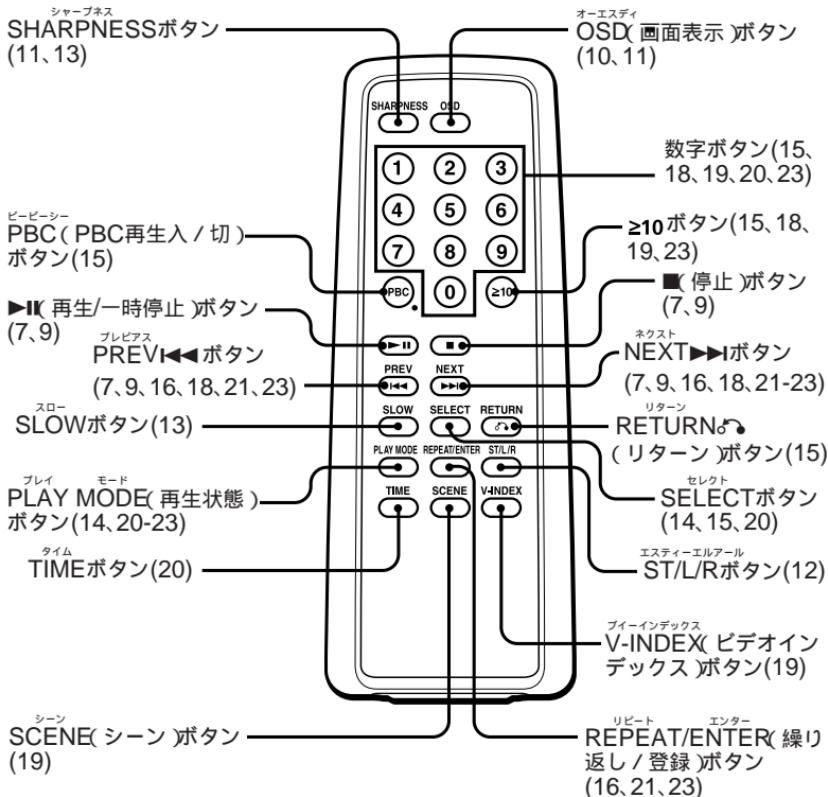
本体



エヌティーエスリー/パル
NTSC/PAL切り換え
スイッチ(6)

オーディオ ビデオ アウト
AUDIO/VIDEO OUT(音声/映像
出力)端子(ミニジャック)(5, 17, 26)

リモコン



用語解説

インデックス

再生したい部分を見つけやすいように、1つのトラックまたはディスク全体をいくつかの部分に区切って番号を付けたもの。インデックスには音楽CDに使われているインデックスと、ビデオCDに使われているビデオインデックスの2種類があります。本機はビデオインデックスにだけ対応しています。

シーン

PBC対応のビデオCDに記録されているメニュー画面、動画や静止画の区切り。それぞれに順に付けられた番号をシーン番号といいます。

トラック

CDに記録されている、映像または曲の区切りのこと。それぞれに順に付けられた番号をトラック番号といいます。

ビデオCD

動画の記録されているCD。

ビデオCDでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG1」(エムペグ1)を使うことにより、12cmのディスクに最大74分までの動画を記録できます。

また、音声情報についても、従来の音楽CDと比較すると約6分の1に圧縮しています。

ビデオCDには、動画や音声の再生だけが可能なバージョン1.1と、高精細の静止画の再生やPBC(プレイバックコントロール)機能を持ったバージョン2.0があります。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号。

PBC対応のビデオCDに記録されているメニュー画面(選択画面)を使って、簡単な対話型のソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

PBC再生

PBC対応のビデオCD(バージョン2.0)のメニュー画面(選択画面)を使って、対話形式で再生すること。メニュー画面(選択画面)を使って簡単な対話型のソフトが楽しめます。

保証書と アフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について当社では、ビデオCDプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル……………  0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
- Fax ……………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00